

愛する者たちよ。あなたがたを試みるために降りかかってくる火のような試練を、何か思いがけないことが起ったかのように驚きあやしむことなく、むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど、喜ぶがよい。それは、キリストの栄光が現れる際に、よろこびにあふれるためである。

5

苦しみよなれは 人をととのえて
 ざ まえ
 み座の前にて しゅろの枝をもつ
 しゅく むれ あお み
 祝されし群を 仰ぎ見さしむ。

9

主のために成して 苦しみ受くとも
^{むな} 空しくあらず。 恵みは人をば
^{こころ} 試みによりて 気高くなせば。

6

10

nt きゃ 痛みの極にも 主への愛に燃え われつき進む。 主よわれの死をも 愛する主の死に 似させたまえや。

7

 11

8

み神を愛して いかなる痛みも

^{た ぬ}
耐え抜きしなば この世の人々

^{でしし}
なれをば主イェスの 弟子と知るらん。

12

主イェスよわれらを 終りの時まで あめ めざ ちゅうじつっ 天を目指させ 忠実を尽くし か父の家にぞ 着かせたまえや。